

事務事業の概要								
1	事務事業名	高齢福祉事業						
2	担当部名	福祉部	担当課名	地域包括支援課	課長名	太田 愛子		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	2	福祉と健康づくりで明るいまち				
		施策	6	高齢者の生きがい対策の推進				
		今後の取組	2	老人クラブの活性化				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	高齢福祉事業費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	①一人暮らし高齢者実態調査②年金受給権のない外国人高齢者③市老人クラブ連合会④生きがい活動団体						
9	事業の目的	①②独居高齢者・年金受給権のない外国人高齢者の生活支援を行う。③④地域で暮らす高齢者が生きがいをもって暮らせ、明るく活力に満ちた地域社会実現のため各高齢者団体へ向けて助成を実施する。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		①一人暮らし高齢者実態調査については調査結果を地域の見守り活動以外の活用方法について情報の共有機関等を検討し、高齢者が安心して暮らせるよう体制づくりを行う。②外国人特別給付金については現在、受給対象者が2名であるためそのまま継続とする。③助成団体については、運営等助言しつつこのまま継続していく。④生きがい活動団体への補助については、平成29年度に音楽療法かしの実研究会より今後の補助申請を辞退する意向があったため平成30年度以後予算措置しない。						
11	事業の内容(手法)	①一人暮らし高齢者実態調査…各地区の民生委員により65歳以上の一人暮らし高齢者の実態調査を実施。②年金受給権のない外国人高齢者に対し申請に基づき特別給付金を給付。③市老連・単位老人クラブ補助金交付…高齢者相互の親睦と理解、地域社会で高齢者が健康的に明るく活動するため運営費用の一部を補助。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標	市老人クラブ加盟団体	54	55	55	55		
	活動指標	① 老人クラブ加入者数	3011	3065	3065	3065		
		②						
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		6,830	6,567	6,567	6,567		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他	1,123	1,432	1,432	1,432		
	(a) - (b) = 一般財源		5,707	5,135	5,135	5,135		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	老人生きがい対策事業						
2	担当部名	福祉部	担当課名	地域包括支援課	課長名	太田 愛子		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	2	福祉と健康づくりで明るいまち				
		施策	6	高齢者の生きがい対策の推進				
		今後の取組	3	敬老会の実施				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	老人生きがい対策事業費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	①75歳以上高齢者②結婚50年を迎える夫婦③米寿・白寿・100歳を迎える高齢者④65歳以上の高齢者						
9	事業の目的	①②③高齢者自らが住み慣れた地域社会の中で、健康で安心して生きがいをもって暮らすことができるよう高齢者の長寿を祝う行事や金婚式等の実施及び祝品の贈呈。④高齢者に文化活動へ参加する機会を提供することで活動の振興や高齢者同士の交流の促進を図り、生きがいのある生活を営むことができるよう支援する。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		①②③市政発足当時から続く敬老事業であることから廃止や大幅な縮小については難しいが高齢者が増加する一方であるため今後の開催方法や祝品について検討する。④新規受講希望の高齢者の動向を見ながら開講する講座を調整する。(受講希望者が定員に満たない場合は閉講する)						
11	事業の内容(手法)	①②市内在住の75歳以上の高齢者を対象に敬老会、結婚50年を迎える夫婦を対象に金婚式を開催。③米寿・白寿・100歳の節目を迎える高齢者に祝品を贈呈。④市内在住の65歳以上の高齢者を対象に手芸・俳句・盆栽の3つの教養講座の開催。						
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)	平成30年度より、上記の3教室については当課が担当する。					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
		成果指標	敬老会参加率	20	20	20	20	
	活動指標	①	敬老会参加者	3000	3000	3000	3000	
		②						
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		11,845	12,876	12,876	12,876		
	歳入(b)	受益者負担額		180				
		国県補助金等その他						
	(a) - (b) = 一般財源		11,845	12,696	12,876	12,876		
14	増額理由	継続事業						
備 考								
従前の敬老事業を平成29年度評価(28年度分)より老人生きがい対策事業に統合した。④平成28年・29年度に文化財課が担当していた補助執行分が終了し本事業に統合したため予算が増額した。								